令和２年１０月２３日
九州地方整備局
大隅河川国道事務所
鹿児島県　志布志市

東九州自動車(仮)志布志有明ＩＣがフルＩＣ化で整備されます

○ (仮)志布志有明ＩＣについては、平成２９年８月に志布志市からＩＣの設置の連結許可申請を受け、国土交通大臣による整備計画変更の決定及び連結許可を行い、志布志市にて地域活性化ＩＣとして整備が進められてきたところです。

○ 志布志市では、「志布志市都市計画マスタープラン」において、(仮)志布志有明ＩＣ付近を新たな土地利用検討地域として指定するほか、日本初の陸上競技特化合宿拠点施設へのアクセス性向上を図るため、(仮)志布志有明ＩＣを志布志市方面へも乗降可能なフルＩＣとして整備に関する連結許可申請をしたところ、国土交通大臣により連結許可がなされたところです。

○ 今後は、志布志市、国土交通省が連携し、(仮)志布志有明ＩＣのフル化事業を推進していきます。

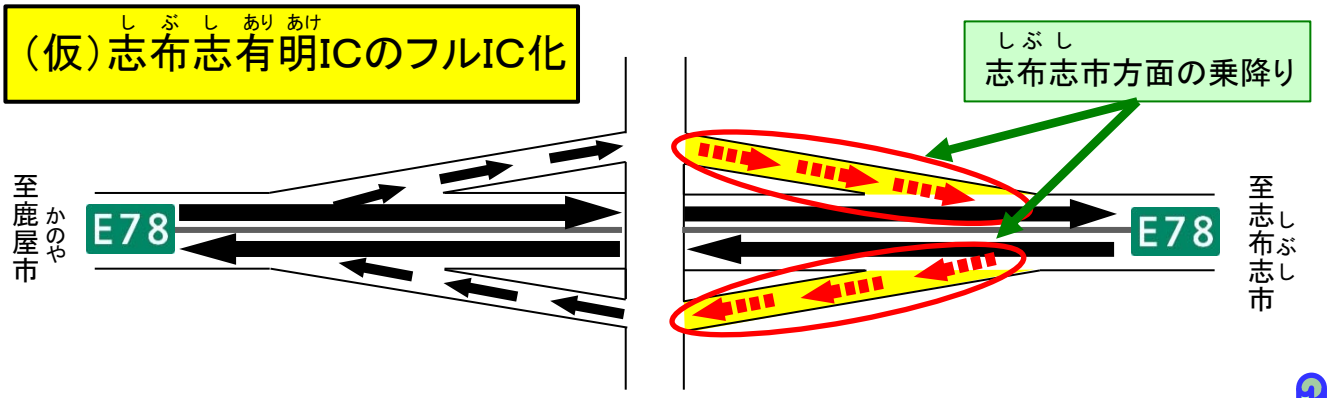
＊地域活性化ＩＣとは、地方公共団体が主体となって発意し、高速道路会社または直轄で建設・管理する区間の高速道路に追加整備するインターチェンジです。

【問合せ先】
●連結許可及び工事に関すること
国土交通省　九州地方整備局　大隅河川国道事務所
技術副所長（道路担当）　馬場　芳男　（内線 205）
工務第二課長　徳重　俊博　（内線 411）※工事に関すること
調査第三課長　柳橋　孝博　（内線 451）※連結許可に関すること
TEL：0994-65-2541(代表)　URL：http://www.qsr.mlit.go.jp/osumi/
●事業に関すること
志布志市役所
建設課長　鮎川　勝彦
都市政策推進室長　冨岡　裕
TEL：099-474-1111

別紙１

E78 東九州自動車道（志布志有明インターチェンジ）位置図

（仮）志布志有明ICのフルIC化



当初は鹿屋市方面のみの乗降りであったためハーフICとしていましたが、志布志市方面からも乗降りできることになるためフルICとなります。

追加インターチェンジ（無料区間）の整備効果

別紙2

■東九州自動車道　志布志有明IC（仮称）

＜概　　要＞

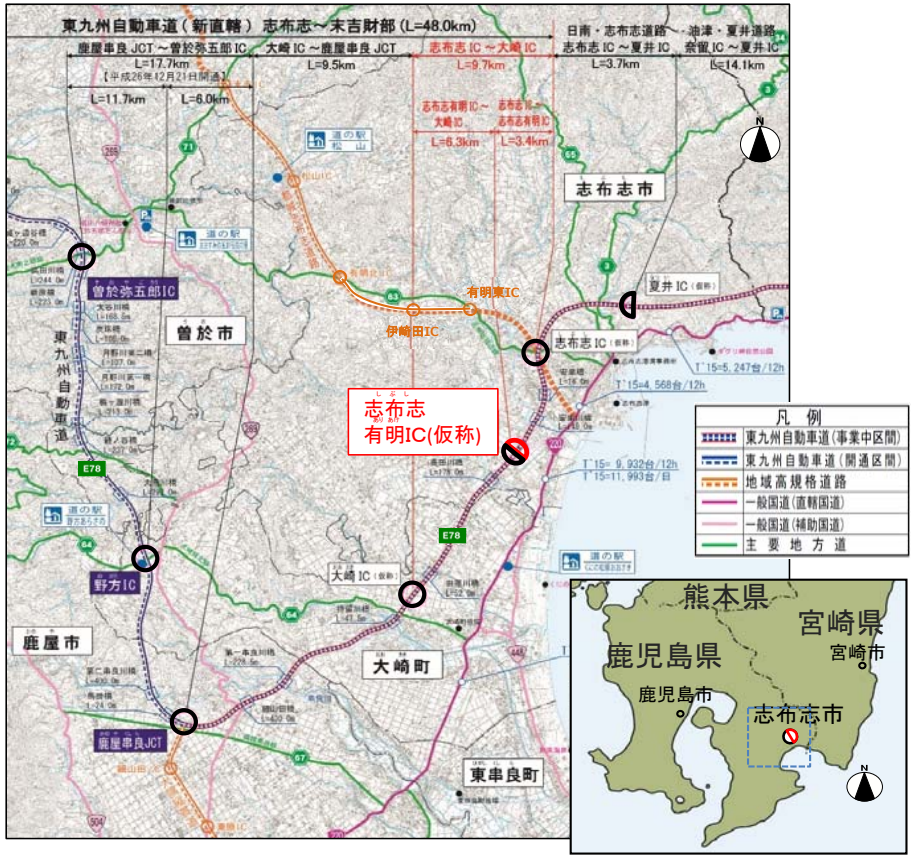
路 線 名　　：　東九州自動車道　志布志～末吉財部
（志布志IC（仮称）～大崎IC（仮称）間）

設置場所　　：　鹿児島県志布志市有明町

接続形式　　：　本線直結型

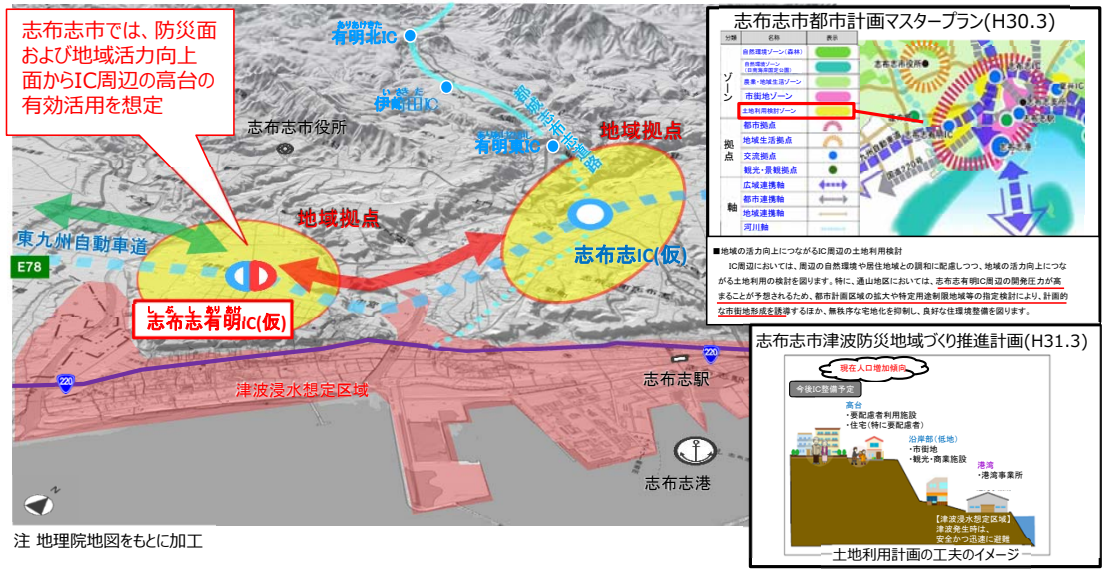
形　　式　　：　鹿屋方面　（2/4）
志布志方面　（2/4）　※今回連結許可

＜位置図＞



整備効果　災害に強い拠点形成による地域活性化

フル化の整備により、高台にある災害に強い拠点に位置づけられたIC周辺の地域拠点の連携強化が図られ、志布志市の新たな地域づくりを支援



注 地理院地図をもとに加工

整備効果　交流人口拡大の支援

フル化の整備により、施設等へのアクセス性が向上し、県内外からの合宿等利用の増加ならびに交流人口拡大による地域活性化の支援

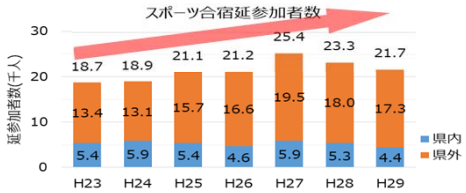
日本初陸上競技トレーニング特化スポーツ合宿拠点施設
ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅
平成31年4月完成

施設

写真 鹿児島県HP

イメージ図 鹿児島県HP

【陸上競技場】400m×8レーン / 全天候舗装トラック / 天然芝のインフィールド / 傾斜走路（全天候舗装）：40m程度×3レーン
【室内競技場】150m×5レーン / 全天候舗装の直走路 / 走幅跳、三段跳用の助走路及び砂場：1箇所 / 棒高跳ピット：1箇所



資料 第２次志布志市総合振興計画、志布志市資料